



## 青森県感染症発生情報 (2022年第39週)

### I 第39週の発生動向 (2022/9/26~10/2)

- 手足口病については、上十三保健所管内で**警報**が発令され、東地方+青森市保健所管内、三戸地方+八戸市保健所管内、むつ保健所管内で**警報**が継続しています。また、五所川原保健所管内で**警報**が解除されました。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
- RSウイルスについては、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
- インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、B型1人でした。

### II 第39週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減 数	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科																
インフルエンザ	1	0.08											1	0.02	1	
小児科	RSウイルス感染症	7	0.88	3	0.33	45	4.50	5	1.00	2	0.33		62	1.48	29	
	咽頭結膜熱														0	
	A群溶血性レン球菌咽頭炎					1	0.10						1	0.02	0	
	感染性胃腸炎	8	1.00	7	0.78	10	1.00	20	4.00	5	0.83		50	1.19	0	
	水痘														-3	
	手足口病	29	3.63	10	1.11	42	4.20	4	0.80	33	5.50	18	4.50	136	3.24	25
	伝染性紅斑									1	0.17		1	0.02	-4	
	突発性発しん					1	0.10	3	0.60	1	0.17		5	0.12	-7	
	ヘルパンギーナ	10	1.25	1	0.11			2	0.40	1	0.17	8	2.00	22	0.52	6
	流行性耳下腺炎														0	
眼科																
急性出血性結膜炎															0	
流行性角結膜炎					1	0.50	1	1.00					2	0.18	2	
基幹																
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0	
クラミジア肺炎															0	
細菌性髄膜炎															0	
マイコプラズマ肺炎											1	1.00	1	0.17	1	
無菌性髄膜炎															0	

は警報、 は注意報。「空欄」:患者報告無し。

## 感染症の窓



### 破傷風 (五類感染症 全数把握)

破傷風は、破傷風菌 (*Clostridium tetani*) (写真) が産生する神経毒素によって引き起こされる神経疾患です。破傷風菌は、土壌などの環境に広く分布し、傷口から体内に入り、傷の中で増殖し、毒素を産生します。

潜伏期間は3~21日(平均10日)で、症状としては、筋肉のけいれんや硬直で、これにより開口障害や喉頭けいれん、嚥下困難等を引き起こします。

日本では年間約100人が破傷風を発病し、このうち5~9人は破傷風が原因で死亡しています。破傷風にかかる人は、1968年より前に生まれ、ワクチン未接種の人に多いことから、予防にはワクチン接種が重要です。

定期予防接種を確実に受けることに加えて、定期接種が未接種あるいは、接種歴が不明の場合は、積極的にワクチン接種を検討しましょう。

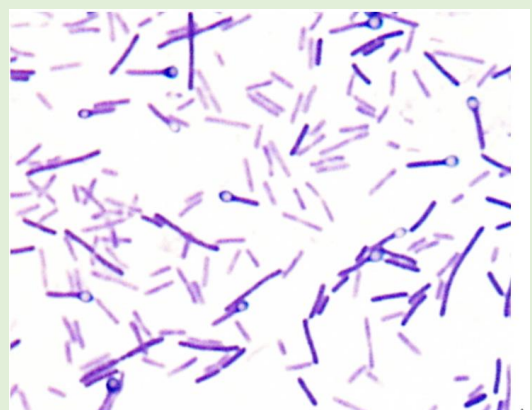


写真:破傷風菌(*Clostridium tetani*)のグラム染色所見

出典:国立感染症研究所HP

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

破傷風(厚生労働省HP)

破傷風 厚生労働省 検索



### Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類感染症）：三戸地方 1 人 (2022 年計：109 人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）：八戸市 2 人 (2022 年計： 15 人)
- ・つつが虫病（四類感染症）：五所川原 1 人 (2022 年計： 7 人)

### Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

### Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2022 年第 36 週～第 39 週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
36	梅毒1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人		レジオネラ症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
37	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	レジオネラ症1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 急性脳炎1人 破傷風1人			
38	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	後天性免疫不全症候群1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			
39			腸管出血性大腸菌感染症2人	つつが虫病1人		

・第 37 週に八戸市保健所管内で破傷風 1 人の届出がありましたので、追加しました。

### Ⅵ 結核(二類感染症)（2022 年第 36 週～第 39 週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
36	1		1		1	
37		1				
38						
39			1			

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2022年第1週～第38週までの累計）

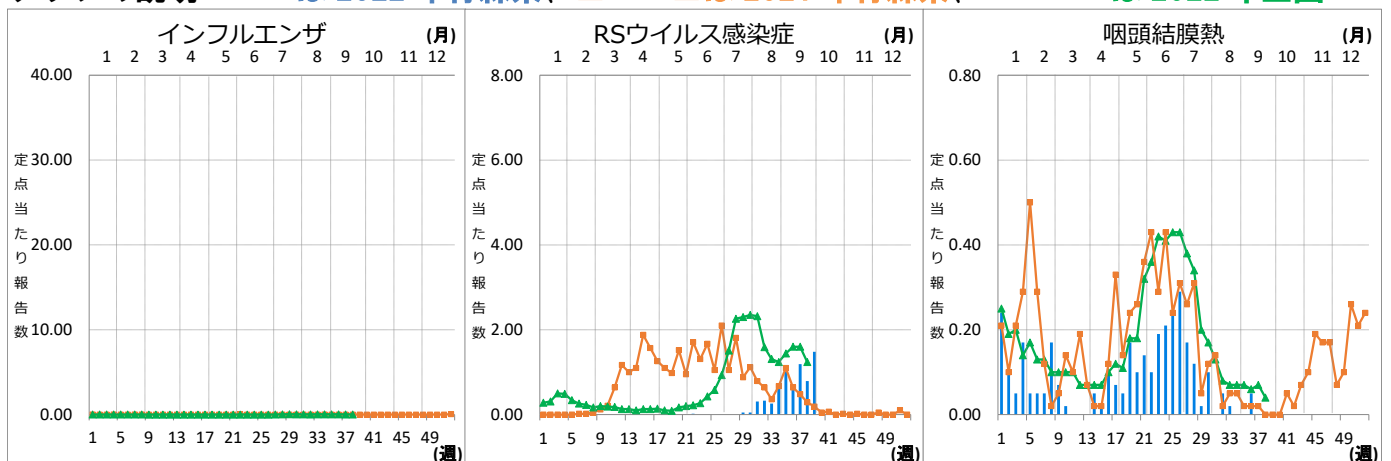
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	オウム病
累積報告数	10553	1	14	2481	11	7	320	57	17	9
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	サル痘	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ボツリヌス症
累積報告数	13	1	4	98	4	98	52	278	1	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎
累積報告数	18	11	2	1544	20	385	151	1287	19	272
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	6	125	537	625	27	126	5	870	227	8970
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症			
累積報告数	105	72	108	356	10	5	11			

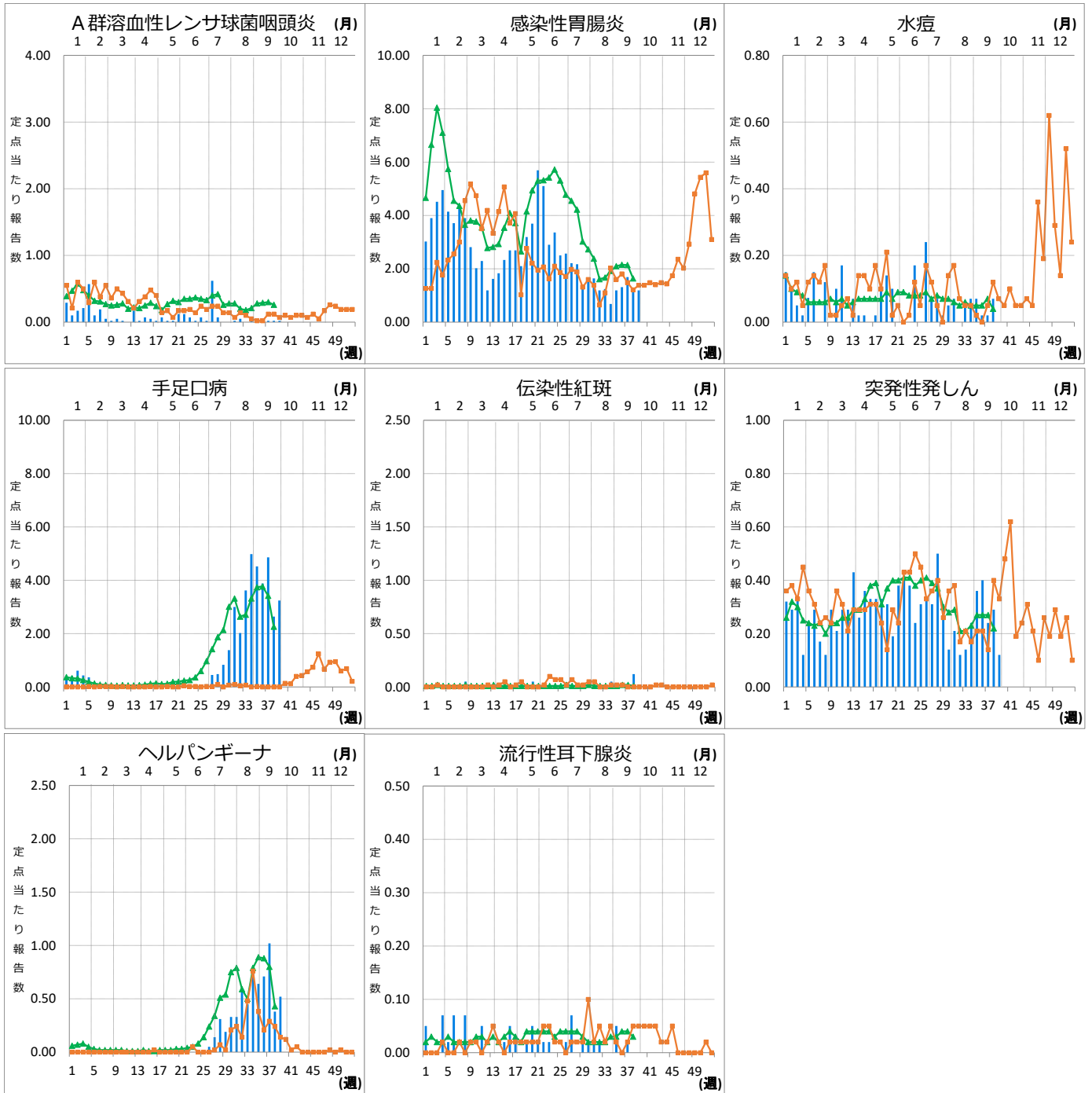
青森県（2022年第1週～第39週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	109	15	1	7	8	2	1	23	1	3
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	百日咳			
累積報告数	14	2	6	1	17	1	2			

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2022年第39週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← 〇は2022年青森県、■は2021年青森県、▲は2022年全国





**Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2022年第39週、ただし全国は前週)**

**グラフの説明** ■は2022年青森県、■は2021年青森県、▲は2022年全国

